

事業所における自己評価の結果（公表）

【放課後等デイサービス】

公表：令和 6年 4月 1日

事業所名 クオリティオブライフ那珂支援教室

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点
環境・ 体制 整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	75%	25%	0%	定められたスペースは確保されている。人数が多い時はステージを上手に使うように工夫している。限られたスペースの中でテーブル等に配置を工夫し密にならないようにしている。
	② 職員の配置数は適切であるか	100%	0%	0%	適切な配置をしている。ただ平均年齢が高い。曜日ごとの利用者のより職員を配置している。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	63%	13%	25%	改善を要する価値が多いが、車椅子利用の利用者がいないので何とかなっている。
業務 改善	④ 業務改善を図るためにPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	88%	13%	0%	活動や行事ごとに話し合いをするようにしている。目標をしっかりと意識してことにあたるようにし、振り返りをきちんとする場を設定する。
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	88%	13%	0%	保護者からの意見や感想を大切に、改善に向けての話し合いの時間を確保できるようにする。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	88%	13%	0%	多くの人に見ていただけるように周知する方法を工夫していく。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	50%	50%	0%	外部評価をしっかりとし、業務の改善に繋げていきたい。
	⑧ 職員の資質向上を行うために、研修機会を確保しているか	100%	0%	0%	決められた研修はきちんと実施している。自主的に研修に行けるように促していく。
適切 な支 援の 提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、計画を作成しているか	88%	13%	0%	アセスメントをきちんとって個別支援計画にあたっている。個々の課題に対する支援員の話し合いの時間をしっかりと確保していきたい。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	50%	50%	0%	標準化されたものが、どういうものかはっきり理解できていない。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	88%	13%	0%	活動プログラムについては、それぞれ分担し、担当者が考え、主任や副主任などからアドバイスをもらっている。
	⑫ 活動プログラムが固定しないよう工夫しているか	88%	13%	0%	基本の活動を中心に季節ごとのイベントや工作を行い、教室環境などに生かしている。
	⑬ 平日・休日・長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	88%	13%	0%	長期休みについては、利用時間が長くなるので、楽しくなるように工夫している。じっくり話し合う時間をしっかりと確保したい。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	89%	11%	0%	個別、集団でのカリキュラムを意識して組み合わせしていく。
	⑮ 支援開始前には職員間で打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	88%	13%	0%	支援前の時間が確保できるように、短時間で済むように工夫していく。学校からの連絡事項を共有し、対応にそなえている。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	63%	38%	0%	送迎がある為、全員が集まるのは難しい。その日の記録がしっかりと残せるように記録簿を使って後で読んでもらう。問題点を共有し次の対応に向けて、共通理解を図っていく。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	88%	13%	0%	記録簿を準備し。モニタリングに生かせるように努力している。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	0%	担当している利用者のモニタリングを行いミーティングも行っている。
⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	88%	13%	0%	ガイドラインに沿って計画が実施できるように努めている。	
⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	75%	25%	0%	管理者、主任、児童発達支援管理責任者が出るようにしている。	

事業所における自己評価の結果（公表）

【放課後等デイサービス】

関係機関や保護者との連携	⑳	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	100%	0%	0%	マチコミの情報の確認、電話等による確認を行っている。
	㉑	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	38%	63%	0%	現在該当する児童がいない為、実績はない。
	㉒	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等間で情報共有と相互理解に努めているか	63%	38%	0%	連絡待ちの状態なので、積極的にアプローチをしていく。
	㉓	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	75%	25%	0%	情報提供を行っているので、できるだけ継続していく。
	㉔	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	38%	63%	0%	積極的に連携できるように体制をつくっていく。
	㉕	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子供と活動する機会があるか	0%	63%	38%	交流ができるようなカリキュラムを検討する。
	㉖	協議会等へ積極的に参加しているか	13%	75%	13%	参加できるような体制をつくりたい。
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%	保護者様との会話を大切にし、情報を収集するようにしている。
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	63%	38%	0%	質問されたことには答えるようにしている。また、しっかり応えられるように賢さんする。
保護者への説明的責任等	㉙	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	0%	継続して、しっかりやっていく。
	㉚	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	0%	できるだけやっている。
	㉛	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	88%	13%	0%	保護者様、会社の負担にならない程度で開催を継続したい。
	㉜	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速にかつ適切に対応しているか	100%	0%	0%	マニュアルに沿って対応していく。
	㉝	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	0%	インスタの更新を頑張りたい。
	㉞	個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%	注意している。
	㉟	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	0%	保護者様との会話を大切にし、情報を収集するようにしている。研修会等に参加し、支援員のスキルアップを図りたい。
非常時の対応	㊱	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0%	88%	13%	何をやっていいかわからない。教室ごとにやるものなのか。その力量は教室だけでは難しい、QOLとしてはやっている。
	㊲	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%	0%	0%	継続して取り組んでいく。
	㊳	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	2回の避難訓練を実施している。
	㊴	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等適切な対応をしているか	100%	0%	0%	委員会を中心に実施し、適切な対応ができていく。今後も継続していく。
	㊵	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%	0%	0%	保護者様より書面も頂いている。
	㊶	食物アレルギーの子供について、医師の指示書に基づく対応がされているか	75%	25%	0%	アレルギーに対して調査はしている。
	㊷	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	75%	25%	0%	ヒヤリハット報告書を作成したり、主任会議資料を見たりして事故防止に努めている。